

4  
ブロック

# 第四中学校

## トリスクール(スポーツ&カルチャー)

今年度は、令和元年まで研修部主催で毎年行われていた「トリスクール」をパワーアップして復活！環境厚生部が行っていた「球技大会」とコラボし、「トリスクールカルチャー」と「トリスクールスポーツ」として行うことを年度当初に決定しました。また参加者を生徒(保護者同伴)にも広げ、親同士の交流、親子の交流、先生との交流を深める目的で行いました。4年ぶりの開催、初めてのコラボ開催ということで手探りの準備でしたが、沢山の意見をいただきながら、少しずつ形になっていきました。

最終的なネーミングは「スポカル(スポーツ軽めのカルチャーコース)」と「スポチャレ(スポーツ重視のチャレンジコース)」となりました。はじめに「室内モルック」をしました。最初はモルック棒が思い通りのところに行かず苦戦しましたが、コツをつかむと狙ったスキットル(番号の書いてあるピン)に当たり、周囲から歓声や大きな拍手が自然発生！緊張も解け、大変盛り上がりました。その後は各コースに分かれました。

スポカルコースは、「ヨガストレッチ、ビーズアクセサリー、フラワーアレンジメント、和菓子作り、ペン習字」の中から希望した講座を受講しました。和菓子作りとペン習字は研修部員の声を聞き、新たに開設したものです。どの講座も外部講師の楽しくわかりやすい御指導のもと、笑顔で取り組みました。私はビーズアクセサリーを選択し、ブローチを作成しました。一人ではなかなか作れないものを他の方と和気あいあいと楽しみながら作れ、世界で一つしかないオリジナルブローチができた時はとてもうれしく、早速ブローチを着けて出かけました。

スポチャレコースは、体力テストの「握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び、20mシャトルラン」を行いました。松江市スポーツ推進委員協議会の的確な指示と励ましのもと、親子の戦いや過去の自分との戦いが繰り広げられました。

コロナ禍明けで参加者が集まるか不安でしたが、100名を超える過去最多の参加者に、そして先生方と協力してトリスクールが開催できたことに、とても感謝しています。(加藤伸孝)



# を紹介します!



7  
ブロック

# 東出雲中学校

## 子ども達のパワー全開

9月に行われた体育祭。1学期の終わりから準備をしてきた3年生。後輩への指導と競技への取り組み、しっかりとリーダーシップを発揮していました。保護者もおおよそ700名観戦に来られ、不安定な空模様でしたが何とか全日程を終えることができました。

翌10月には「彩歌～奏でよう個性 響かせよう歓声～」のスローガンのもと、合唱コンクールが開催されました。この日も外は雷が鳴るほどの悪天候。しかし、生徒達の歌声でそんな状況を打破。各クラス練習の成果をしっかりと披露されました。(仲野貴則)



# 市P連情報発信



松江市PTA連合会ホームページ

最新の「お知らせ」や「過去のきらりまつえ」をご覧ください。

<http://www.matsueshi-pta.gr.jp/>



## 理事会に併せて研修・意見交換を実施

理事会では、理事の皆さんによりよい情報提供もできるようにと、議事に入る前に短時間ではありますが研修会の時間を設けております。

第2回理事会(7月21日)では、市教育委員会生徒指導推進室・西村室長さんにご依頼し『いまどきの生徒指導』について話していただきました。理事の皆さんからは「このような生徒指導に関する報告が聞けてよかった」などの感想がありました。

第3回理事会(12月16日)では、臨床心理士・小林亮輔さんをお迎えし『スクールカウンセラーが考える子育て～アイをめぐる冒険(思泉)～』という内容で講話があり、「お金や物は手抜き愛情」「愛情ってなに?」「愛情とは養育者の時間を子どもに与えることではないか」などと、子どもに与える愛情について話していただきました。理事会の最後には各ブロックで研修内容について意見交換をし「自分の子どもに向き合っているかを考えるいいきっかけになった」「心に余裕がない」等々、活発に意見交換がされました。子どものために何に時間を使っていくのかを考えさせられるよい時間となりました。(会長/福島喜美子)



第3回理事会の様子

## 松江市PTA連合会研修大会を終えて～お笑い芸人からコミュニケーション力を学ぶ



11月23日(木・祝)、八雲アルパホールにて、令和5年度松江市PTA連合会研修大会を開催いたしました。

今回は、吉本興業所属芸人の「タケト」氏を講師に招いて、「お笑い芸人タケトのコミュニケーション講座!!!」と題して講演をいただき、107名のみなさまにご参加いただきました。コミュニケーション力の向上のために必要な「傾聴力(十分な目と心で聴く力)」と「話す力(伝える力)」について、具体的なメソッド、ペアでのワーキングショップ、質疑応答、余談などを交えながら、とても面白くてためになるお話を聞かせていただきました。

当日は、会場のみなさまがタケト氏を温かく迎え、終始、和やかで一体感のある雰囲気なかでの講演会となりました。

お忙しい中、当研修大会にご参加いただきました各单位PTAのみなさまへ、研修委員一同、心より御礼申し上げます。(研修委員長/足立秀亮)

## 八雲中学校が文部科学大臣賞を受賞

昨年度制作した松江市立八雲中学校のPTA広報紙「星雲」が、全国小・中学校PTA広報紙コンクールの中学校の部で「文部科学大臣賞」を受賞しました。広報紙を発行していない学校もありますが約1万校の頂点ということです。

近年はコロナの影響でPTA行事も少なく、特集する内容にも大変苦労しました。そこで広報紙の内容を大きく変更し「親子おもしろアンケート」や「中学生あるある」「先生にインタビュー」など、アンケートで参加してもらったページを作りました。紙面の回答からもノリノリで楽しんで参加していただいているのが伝わり、それも受賞のきっかけになったのだと思っています。「星雲」は年3回発行、毎年保護者・教員含め10名程度で制作していますが、仕事や子育てで忙しいなかの作業です。負担を減らすためにLINEで打ち合わせたり、空き時間にできる作業を分担してたりしています。親子で楽しみながら「楽しい広報紙を作る」それがこの受賞で認められとても嬉しく思います。(八雲中学校/船本亜紀子)



八雲中学校広報部の2人(中央・右)と日本PTA全国協議会会長表彰を受賞した石倉昭和元会長(左)

令和5年度会報委員 (83号担当) (敬称略、○は所属ブロック)

- ①本田真一(城北小)      ⑤小室満子(玉湯学園)      ⑧野津宏司(島根小)
- ②松尾俊明(持田小)      ⑥玉木真智子(大野小)      幹事 野村康徳(意東小)
- ③矢田 恵(乃木小)      ⑦仲野貴則(東出雲中)副委員長      副会長 田城敬史(南廣後小)
- ④加藤伸孝(第四中)      ⑨小室範明(意東小)委員長

編集/松江市PTA連合会 会報委員会 印刷/株式会社谷口印刷



# INDEX vol. 83

- page 2・5.....PTA活動紹介
- page 3・4.....地域活動紹介
- page 6.....市P連情報発信

### 記事掲載校

- 3ブロック: 乃木小学校
- 4ブロック: 第四中学校
- 5ブロック: 玉湯学園
- 7ブロック: 東出雲中学校
- 1ブロック: 城北小学校
- 2ブロック: 持田小学校
- 6ブロック: 大野小学校
- 8ブロック: 島根小学校



笑顔が  
日常に笑顔が  
戻ってきたよ

編集後記

2学期はたくさんの学校行事が各校で盛大に開催されたのではないのでしょうか。Vol.83でも、マスクを外した子ども達のたくさんの笑顔を紹介できたと思っています。是非ご家庭でも会報紙をもとにご家族で話に花を咲かせてもらいたいと思います。来年度もたくさんの「笑顔」を発信できるように努めていきたいと思っておりますので、楽しみにしてください。

(会報副委員長/仲野貴則)

3  
ブロック

# 乃木小学校

## 乃木小PTAフェスティバル 完全復活!

10月29日、乃木小学校にてPTAフェスティバルが開催されました。長く続いたコロナ禍でも学校と協力して『やめる』選択ではなく『できることをする』を大切にしてきた乃木小PTA。何年も縮小規模で開催してきましたが、今年度は晴れて完全復活のフェスティバルとなりました。そして今回、初の試みとして乃木文化祭と同日開催。小学校体育館やピロティ、そして公民館の一室を使い、『なぞときスタンプラリー』を実施。サスケ、バラエティ★チャレンジ、おぼけつり、おやつブースなど楽しいブースで賑わいました。公民館と小学校をたくさんの方が行き来してくださいました。児童、学校、地域とのつながりを大切にしている乃木地区だからこそ、実現できた1日だったと思います。子ども達の笑顔があちらこちらで輝いていました。(矢田 恵)



# PTA活動

5  
ブロック

# 玉湯学園

## 『バトン〜創ろう玉湯色の体育祭〜』

9月20日(水)、23日(土)に雨天順延をはさみましたが、2日間に渡り体育祭が開催されました。初年度(R3)は1年生～9年生が全員参加しての1日開催、昨年度は1年生～4年生、5年生～9年生の別々開催でした。こうした流れの中、義務教育学校である玉湯学園ならではの、やはり全校で行いたい思いから今年度は全校での2日間開催になりました。スローガン『バトン〜創ろう玉湯色の体育祭〜』は、1年生から9年生を繋ぐ、そしてこの新体制で行う体育祭を次に繋げていくという思いを込めました。子ども達はみんな勝利したいという思いを繋ぎ、一丸となって競技、応援合戦ともに見ごたえのある体育祭を創り上げました。(小室満子)



1  
ブロック

# 城北小学校

## 伝えていきたい伝統文化「鑿行列」

鑿とは、出雲地方で「太鼓」です。鑿行列とは大正天皇の即位の御大典の際、各町が鑿の大きさを競い、鉄の車輪を付けた屋根付きの鑿宮・笛・チャンガラを鳴らして市内を行列してお祝ったことが始まり。城北小学校には「鑿行列クラブ」というものがあります。平成8年に発足し、伝統ある鑿行列を、子ども達を通じて後世に引き継いでいきたい、そんな地域の方の強い思いから出発したクラブです。コロナ前では約20名程度の児童がクラブに所属し、笛の吹き方・音楽室にある子ども用の鑿台で叩き方を校区内の石橋町の方々に指導してもらい、学習発表会や毎年行われている「松江祭鑿行列」に参加していました。子ども達がハッピーを着て練り歩く姿は、観衆のみなさんのおなじみとなっております。また「鑿」を持っている町内の子ども達は、生まれた時からその音色を耳にし、育ってきています。町内毎に特色があることがなんとも言えない味わいです。しかしコロナ発生後、活動は一時中断となり、またそれを支える校区内の各町内も行列を行う為の人員に悩まされるという状態に陥り、後継者育成に苦労している状態です。その中で伝統を切らさない為、活動を繋げていくために知恵を出し合いながら努力をしている大人達があります。その大人達の姿を子ども達が「どう」感じてくれるのか。時代と共に人は変わっていきませんが、継承されてきた「鑿」は変わる事はなく、音色と共に私たちを見守り、成長を促してしてくれるそんな気がします。「鑿」に限らず、身近に感じる事が出来る「伝統文化」に、親子で触れて・体験することで地域とつながることが出来るきっかけになるかも知れませんね。(本田真一)



# 地域活動を紹介します!

6  
ブロック

# 大野小学校

## サバ飯、炊くべし〜空き缶でご飯を炊こう〜

7月26日大野公民館で、子ども会によるサマーフェスティバルが行われました。今年は、牛乳パックを燃料にして、空き缶でご飯を炊くことにチャレンジしました。ところで、みなさんはサバ飯を知っていますか? 鯖の入ったご飯じゃないですよ。サバイバル飯炊きを略してサバ飯。身近にあるものでご飯を炊くことで、非常時でも工夫次第で何とかなる事を体験するのです。実践では、まず缶切りを使うことに戸惑い、サイドの穴あけにも苦労していましたが、子ども達同士で声を掛け合い、コンロを完成させました。また炊飯時にも火を絶やさないように色々とお苦戦していた様子でしたが、皆が協力して無事にご飯が炊けました。最後は、みんなでカレーやふりかけなどをかけて美味しくいただきました。子ども達は初めての経験だったと思いますが、楽しく学べることができ夏休みの良い思い出になったと思います。(玉木真智子)



2  
ブロック

# 持田小学校

## スポーツの舞台「松江北山」!

持田地区は北に北山、南に嵩山を望む自然豊かな地区です。近年、この北山を舞台に2つのスポーツ大会が生まれました。主に5月または6月に行う「ヒルクライム松江北山」と10月の「松江北山登山駅伝」です。ヒルクライム松江北山では、持田のふもとから峠までの4.1km、標高差400m、平均勾配10%を超える上り坂を、ロードバイクという走ることに特化した自転車で駆け上がります。松江北山登山駅伝では、持田公民館付近から峠まで駆け上がり、さらに林道を縦走して枕木山まで折り返す全長26.8kmのコースを、3人でタスキを渡しながらゴールを目指します。どちらも地区内外から多くの選手が集い、大変盛り上がります。是非一度、応援に訪れませんか? お待ちしています。(松尾俊明)



8  
ブロック

# 島根小学校

## 自然豊かな島根町

島根小学校PTAでは、島根公民館が主体となり、初夏のホタル観察、秋のファミリーフィッシング、冬の餅つき体験など、様々な活動を行うことができました。6月のホタル観察会では、島根町加賀にある澄水川を散策し、乱舞する幻想的な光に大人も子どもも感動しました。またホタルに関するクイズ大会も行われ理解を深めることができました。秋には海の町島根町ならではの、家族で魚釣りを楽しむファミリーフィッシングが行われました。アキアミやカゴを使い、アジ、タイなど様々な魚が釣れました。冬の餅つき体験では、昔ながらの杵、臼を使った餅つきを体験しました。皆さまも是非自然豊かな島根町へ遊びに来てみて下さい。(野津宏司)

